

番号	質問	回答
1	働き方改革推進の為には、今以上の人員が必要だと思いますが、人材確保はどのようにするのですか？	人材の確保に向けては、新たに採用を見込む職種等を含め、新病院開院前から計画的な採用・交流や人材育成、必要な研修の仕組みづくりに取り組むものとしています。 また、多様な勤務形態を取り入れ、職員にとって働きやすい環境を整備するなど、人材の確保に努めてまいります。
2	人材確保についてどのように考えているのか知りたい。病床1000床の場合、医療介護従事者は3000～4000人規模必要で、特に看護師は1000人必要です。その際、看護師50人あたり看護管理専門1～2人、専門・認定・特定行為看護師1～3人、が必要と言われている。となると、該当する人材は最低でも40～60人必要です。現在の合併病院を総和しても不足です。どのように病院看護を運営し、高度医療を展開するのでしょうか？	看護師等の職員数につきましては、病棟数や病棟構成、その他の医療機能と合わせ、計画の具体化を図りつつ、施設基準を踏まえ必要となる配置を行います。必要な人員の確保・配置に向けては、計画的な採用による人員確保とともに、法人全体での医療水準の向上や人材育成を図るため、高度急性期医療の提供に資する資格取得や、先進医療施設での研修、法人内における病院間の研修及び人事交流等を行います。
3	高度専門的な医療を構築するにあたり、大学病院は各診療分野で各々特色が有り、専門医確保と新しい未来に向かっていく若手の医療従事者の育成も重要と思いますが、どのようなネットワークで、新病院に専門医の就任を予定しているか、お聞かせ頂けたら嬉しいです。	広島大学との緊密な連携、県外からの医師の誘致により医師の確保に努めます。 詳しくは、県の高度医療・人材育成拠点基本計画（R5.9策定）23ページをご覧ください。
4	いつ完成ですか。	2030年度の開院を目指しております。
5	診療科を知りたい。	診療科は、総合診療科、感染症科、循環器内科、消化器内科、内視鏡内科、呼吸器内科、腎臓内科、リウマチ科、糖尿病・内分泌内科、脳神経内科、臨床腫瘍科、精神神経科、消化器外科、乳腺外科、移植外科、心臓血管外科、呼吸器外科、整形外科、形成外科、脳神経外科・脳血管内治療科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、歯科・口腔外科、麻酔科、救急科、小児科、小児腎臓科、小児循環器科、新生児科、小児外科、小児感覚器科、産婦人科、生殖医療科、緩和ケア科、病理診断科、ゲノム診療科 の計41科を計画しております。
6	紹介された方が診察ですか。	新病院は高度急性期・急性期を担う基幹病院として、患者様の日常的な診療を行っている「かかりつけ医」の先生方との機能分担・連携を推進し、積極的な紹介・逆紹介を通じて、必要な医療が地域内で受けられる地域完結型医療の実現を目指しています。

番号	質問	回答
7	現在の先生が新病院の勤務になった際に今までと同じように担当して診察してくれますか？	令和6年度より開始となった医師の働き方改革の推進等の観点も踏まえて、主治医や外来担当医の適切な配置等について検討してまいります。 地域の医療機関との連携の下、ご紹介いただく患者さんには、適切な医師が担当させていただきます。
8	医師の地域偏重がある中で、以前新病院が誕生後、過疎地域に医師を派遣する構想があると新聞記事を読みました。 このことについてもう少し詳しく教えていただければと思います。	医療資源を集約・症例を集積し、新病院を整備する。魅力的な環境を通じて医療職が集まり、医師の総数を増やし、対応力を高めていく。その過程で、地域医療に関心のある医療者を確保・育成していく。医師偏在等の解消に向けては、このような段階的なステップを経ることを想定しており一定の時間は要しますが、こうしたサイクルをうまく機能させることによって、高度な医療とあわせ、医療人材の確保の好循環を実現したいと考えています。
9	広島駅から新病院までの動く歩道を作ってほしい。	広島県としてもＪＲ広島駅に近いという利点を最大限活かしたいと考えております。ＪＲ広島駅からの動線については、利便性及び費用対効果等の観点から関係者と連携し検討を進めます。
10	記念病院、吉島病院は統合されるのか 統合後はどこで受診になるのか	広島記念病院及び吉島病院は、国家公務員共済連合組合の運営する病院のため、国家公務員共済組合連合会において判断されるものと理解しています。
11	統合計画の病院で診てもらっている場合、自動的に移行するのか。 その際に受診券も発行してもらえるか。	新病院に統合される医療機関の診療情報は、以降の診療に支障が無いよう統合して引き継ぐ計画です。なお、受診券は新たに発行することとなる予定です。詳しくは、県の高度医療・人材育成拠点基本計画（R5.9策定）131ページをご覧ください。
12	統合されて大病院になった場合、患者のメリットは？	医療資源の集約によって、マンパワーが充実し救急患者の応需率が高まる、感染症などの有事への対応力が高まる、症例が集積され医療者の経験値が高まることで治療成績が上がるほか、マンパワーの充実によって医療従事者の負担が減るなど、患者さんにとっても従事者にとってもメリットを発揮できると考えています。
13	大病院になった場合の混雑や、待ち時間が長くなったりはしないか	外来部門では、予約の最適化やWeb問診、受付から診察、会計までを一連で行える患者動線、待ち時間の短縮化を考慮した診察呼び出しを行う患者案内システム等、患者にとって利用しやすい環境の整備を検討しています。 (P127)
14	人工透析が必要な慢性腎不全患者のうち、がん治療や整形治療の必要な方々を積極的に受け入れる計画はあるのでしょうか？	腎臓センターでは、合併症を有する等、地域の透析医療機関では透析導入が困難な患者に対応する方針です。(P74)
15	病院の規模が大きくなることで、地域医療において重要である患者一人一人を診ることが難しくなることはあるか	周辺地域の医療機関間の機能連携・役割分担により、患者の状態に応じた切れ目のない医療を提供する地域完結型医療を実現してまいりたいと考えております。

番号	質問	回答
16	新病院建築にあたり、建築費高騰の折から、どのような対策をされてますか？	新病院の理念や果たすべき役割を損なうことなく、持続的な病院経営を行うことが重要と考えており、今後の更なる建築コストや人件費の上昇に加え、医療ニーズの変化等も十分に見込んだ上で、引き続き、医療を取り巻く状況の変化等を踏まえた必要な見直しを行ってまいります。(議会答弁)
17	医療者の数が減っていることについてお話をされていましたがそこについての対策はどのように考えていらっしゃるのか。	これまで本県においては、自治医科大学卒業医師の派遣や広島県医師育成奨学金、高校生を対象にした医療体験セミナー等、医師確保に向けた取組を行ってまいりました。これらの取組に加えて、診療体制が充実する新病院においては、高度医療や様々な症例が集積された魅力的な環境の整備により、全国から意欲ある若手医師に選ばれる施設を目指してまいります。
18	広島大学との関係性はどうか？または広島市民病院との差別化は？	広島大学と県で、それぞれの医療資源等の強みを生かしながら連携を進め、広島県内における地域完結型の医療提供体制の構築に寄与すること及び医療水準の向上を図ることを目的として「高度医療・人材育成拠点の整備に関する協定」を令和7年7月7日に締結しました。 また、広島市民病院を含む広島都市圏の基幹病院とは、役割分担や機能連携に向けて、救急医療等の課題について定期的な意見交換を行っているところです。 今後も引き続き、地域の医療機関との連携・役割分担による効率的な医療提供体制の構築を目指して、各関係者との協議を行ってまいります。

(その他ご意見、ご感想、聞いてみたいテーマについて抜粋)

- ・新病院構想により地域医療の問題が解決し、ますます広島県や市が発展されることを祈ります。
- ・最新医療の拠点が広島市内に出来ることは住民として大変有りがたいと感じております。
- ・新病院構想が地域医療に果たす役割とその仕組をタイムテーブル及びヒエラルキーを織り交ぜて教えて欲しい。
- ・医療DXは「何を、誰のために、どこまで進めるか」という価値設計が極めて重要です。制度・倫理・地域構造を見据えた議論へと深化することを期待しております。
- ・今回は貴重な講演会のご機会をありがとうございます。広島に住む一県民として、今回の新病院構想や医療DXの推進は大変期待しております。
- ・大変参考になりました。次回も参加したいと思いました。
- ・分かりやすい説明で良かったです。人材育成の具体的な方法を知りたい。
- ・ひろしま健康手帳アプリでできる事が将来的に国の施策でマイナンバーで可能となれば複数の管理ツールを使わなくても済むのでしょうか。救急搬送の内、軽症者と重症者を仕分けて本当に必要のある人を優先する（トリアージ）仕組みが必要では。
- ・アプリ「NOBORI」は活用できそうです。HMネットの活用普及が必要。
- ・新病院は受診しやすい病院となることを要望致します。
- ・責任ある立場の方々が率先してDXを学ぶことが重要だと思います。
- ・医療分野においてもDXを推進していくことは、避けては通れない道になっていると感じました。ただし、様々なデジタル技術を導入するには多額の費用がかかると思うので、厳しい病院経営の中、費用対効果も考慮して、導入するデジタル技術を選択する必要があると思いました。
- ・ぜひ働いてみたい。AIの話が面白かった。
- ・新しくできる県立病院や医療DXについて、知らない事をたくさん知れたので良かったです。医療DXと一言で言ってもいろんな事が含まれているんだなと感じたのと、医療DXが進む事で医療者が患者と向き合う時間が増えると良いなと思いました。マイナ保険証も前向きに捉えようと思いました。
- ・新病院ができることでとても安心しています。今日のセミナーでDXのすばらしさ、それを導入されるようで良いと思いました。もっと新病院の情報を発信して欲しいです。秀先生の司会が良かった。
- ・広大准教授の話が面白かったです。
- ・パネルディスカッションの時間をもっと長くしてほしかった
- ・人材育成、特に医療に携わりたい中学生高校生に対する何か取り組みを考えているのか聞きたい。
- ・新病院の進捗や県内の医療がどう変わるか聞きたい。